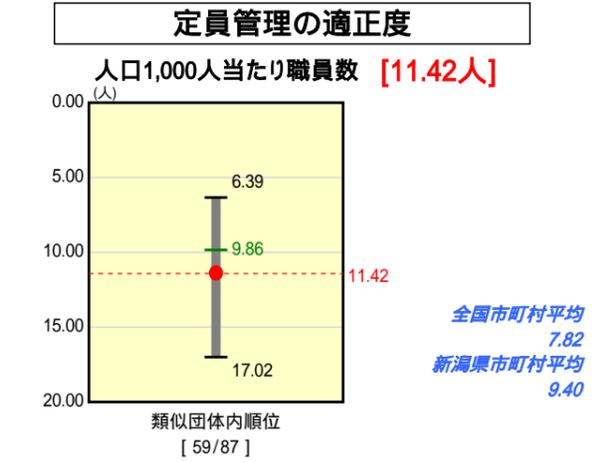
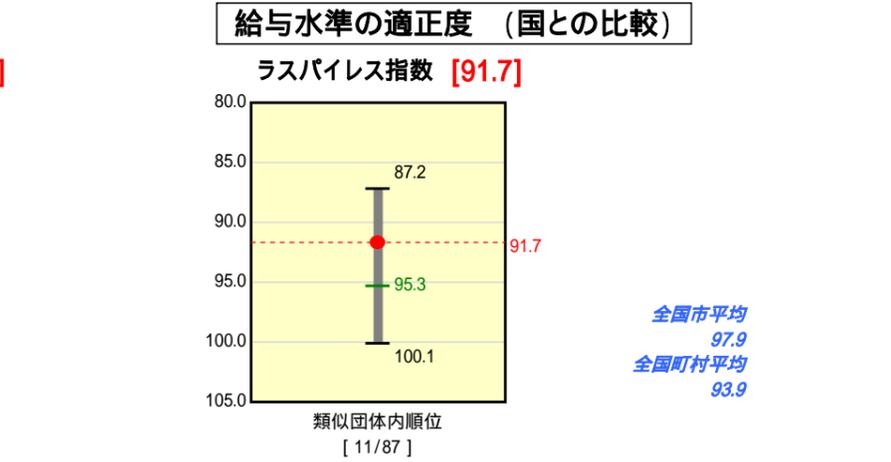
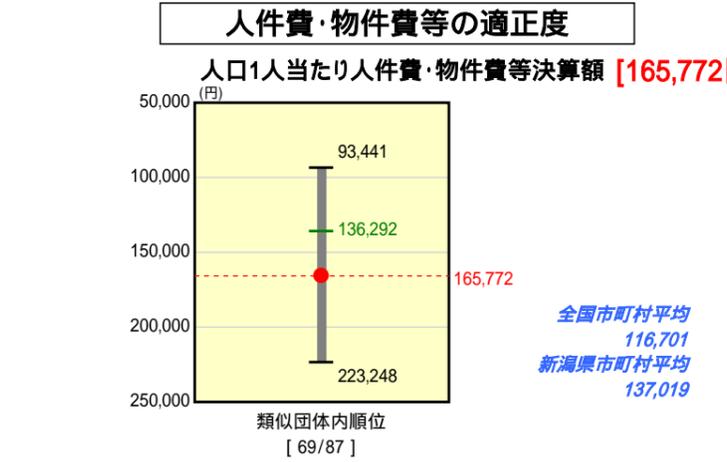
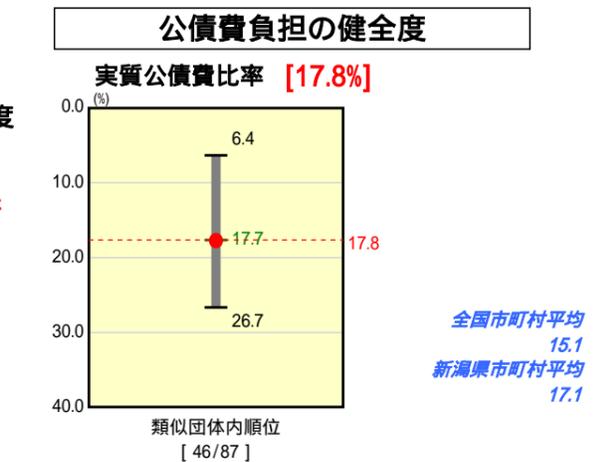
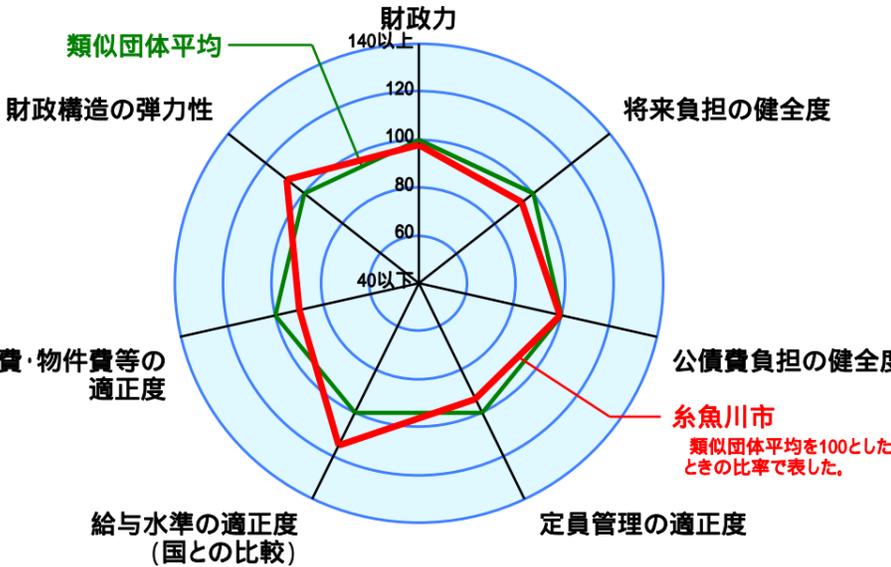
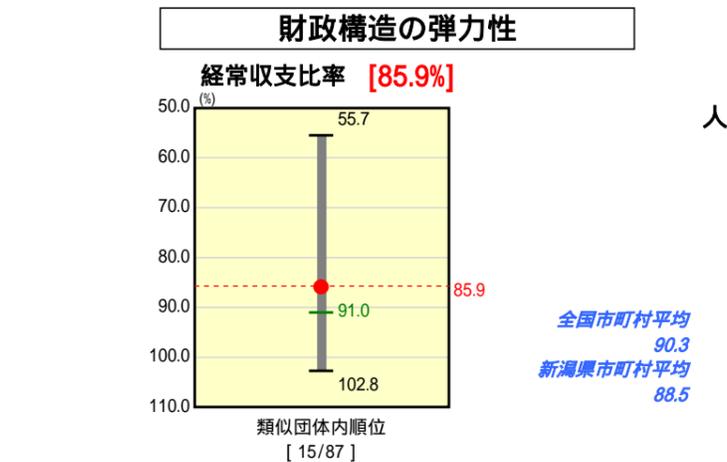
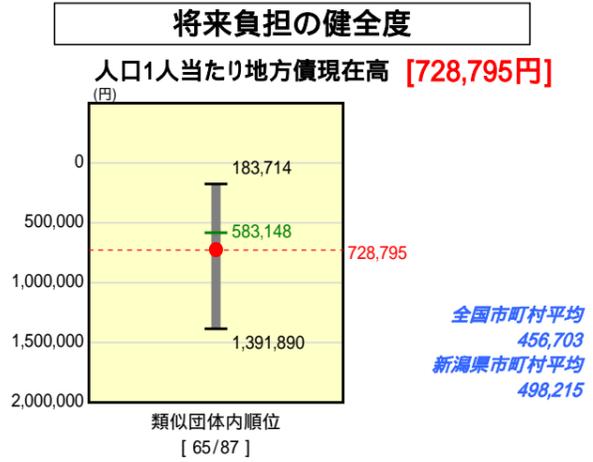
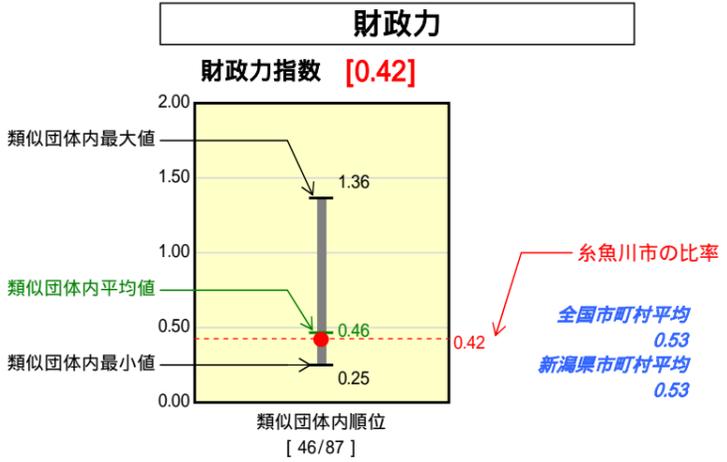


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

新潟県 糸魚川市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 49,995人 | (H19.3.31現在) |
| 面積 | 746.24 | km ² |
| 歳入総額 | 30,619,385 | 千円 |
| 歳出総額 | 28,681,237 | 千円 |
| 実質収支 | 1,744,849 | 千円 |



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
市町合併以降、連続した伸びとなっているが、類似団体平均より若干下回っている。今後、産業の振興を行い、税収基盤の強化を図るとともに、税収の徴収率向上を中心とする歳入確保に努める。

経常収支比率:
類似団体平均より若干良いが、前年度に比べて算式の分母である経常一般財源等が減額となっている分上昇している。税収等の経常一般財源の確保に努めるとともに、行政改革への取り組みにより事務管理費等の経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体に比べ、高くなっているのは、主に物件費が要因となっている。今後、行政改革への取り組みにより経常的経費における物件費の削減を図る。

ラスパイレス指数: 類似団体平均よりも低い水準にあり、今後とも給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数:
合併により、類似団体と比べて職員数が多い状況であることから、定員適正化計画により、当面、退職者の3分の1を上限とする職員採用にとどめるなど、早期の適正化を目指す。

実質公債費比率:
準公債費である公共下水道事業特別会計等への基準外繰出が多く、実質公債費比率に影響している。今後は、過疎債、合併特例債等の優良債の活用及び下水道使用料の見直しによる財源の確保、繰上償還の実施や新規債発行の抑制による公債費の削減により、数値の抑制を図る。

人口1人当たり地方債現在高:
市町合併以降、繰上償還の実施により地方債現在高の削減に努めており、地方債残高は減少しているが、類似団体と比較すると、依然として多額となっている。今後も、繰上償還の実施や新規債発行の抑制を行うことにより、残高の抑制・低減を図る。